スーパーモダニズムの誘惑

新しい、モノとか、新しい「コト」の正体は一体何なのか。

モダニズムとは、ファッションにおいて、何を意味するのか。

ファッションについて、新しさを研究すれば、根源的に人間の精神にたどりつくという、つまり何も新しいことがないということになる。

科学や化学の世界でなら、これから新しさをしようとしている定理や論理が新しい「コト」と、ということになって、はまだ現実性を逸脱した内容になる。

エンターテイメントの世界では新しいことは、「飽きた。」の"次"を指すことは明白だ。

では、楽器における新しさとは、これは複雑だ。今となっては、新しいサウンドの源泉体というわけにはいかなくなっているのではないか。

ビットビットが身近に接していることである。(必ず!!)音を出すしかも持っていない。

だから、新しい音なんて、存在しえない。

いま必要な音が新しいサウンド・モダニズムである。

いま必要な機能がメカニカル・モダニズムである。

いま必要な、ヴィジュアル・イメージがファッション・モダニズムなのだ。

そこで、アクスター。

テールエントチューナーと称して登場。

基本アイデアでは皆さん、御存知のモノに先を越されたが、内実では、せひ皆を驚いあいたいと願うのだ。

アクスター・テールエント・チューナー